

〈授業デザイン構想例 7〉

## 高等学校 公民科 公共 「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」



### 教科としての特性

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 【高等学校学習指導要領解説 公民編 P21～】

### 公民科で育成を目指す資質・能力

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【高等学校学習指導要領解説 公民編 P21～】

### 公民科で働かせる見方・考え方

【見方】人間と社会の在り方を捉える概念的枠組みに着目して課題を見出す、着目する。

【考え方】それらの課題の解決に向けて選択・判断の基準となる考え方などを関連付ける。

【学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）別添資料】

### 視点1 各教科等と「持続可能な社会(の創り手)」との関連

主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成をする。

### 視点2 授業における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に捉えた学習活動

個別最適な学び		協働的な学び
<p><b>指導の個別化</b></p> <p>社会の諸課題について、生徒自身が問い(課題)を設定する。それぞれが社会課題(少子高齢化、観光振興、エネルギー等)について、手段を選択し、持続可能な解決策の提案を行う。</p>	<p><b>学習の個性化</b></p> <p>持続可能な解決策の提案に向けて、それぞれで構想していく。生徒一人一人の興味・関心に応じた課題意識を基に考察する。それぞれの視点で課題解決案を提案する。</p>	<p><b>協働的な学び</b></p> <p>課題解決策を立案するため、友人との対話、地域の自治体職員等、外部機関や専門家との対話を行う。スライド作成はクラウドで行い、常に他者参照できるように設定する。</p>

### 視点3 個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

【本単元全体で活用が想定されるICTの機能】

Microsoft Office365 の活用 (Teams [チャット、ファイル共有、共同編集、オンライン会議]、PowerPoint [スライド作成、プレゼンテーション]、Forms [アンケート、振り返り] 等)




## 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想例

## 学習指導要領を基にした授業デザインを構想するにあたってのポイント（単元）

「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」は公共のまとめとして位置付けられる単元である。社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでに習得してきたことを活用し、多様性を尊重しながら、社会参画を視野に探究することができる。このような授業は従来からも取り入れられてきたものであるが、ICTを活用することで、より効果的に生徒が自身の興味関心に基づいて課題を設定、追究でき、また多様な他者と協働しながら学び、思考を整理し、深めることができる。

## 単元名：「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」全8時間

流れ	授業の流れ（第8／8時） 本時における学習過程「考えの再構築」	指導の 個別化	学習の 個性化	協働的 な学び	ICT の活用
導入	1 前時までの活動を振り返り、本時の問い、活動を確認する。 ① グループやクラスでの発表を踏まえ、自分の課題解決案を修正し、完成させ、提言としてまとめる。 ② 本時の終末に個人でこれまでの単元の学習を振り返ることを確認する。		主 		
	本時の問い：「生徒個人で設定した問い」 例) 私たちはフェアトレードと、安価な商品を求める消費者意識とどう向き合うべきだろうか 等	主 			
展開	2 各自で個人の提言案の修正を行う。 (妥当性や、実現可能性についての見直し) ・他者参照し、改善点を具体化する。 ・多面的・多角的に考察する。		深 	対 	ICT 
	3 修正した提言案の全体シェアと意見交換 ・クラス全体で共有し、多様な意見を比較・検討する。 ・聞き手はチャット機能でコメントする。 ・他者の提案から学び、自分の考えを更に深める。 ・プレゼン、意見交換を通じて、自分の考えを再構築する。		深 	対 	ICT  ICT 
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・本時の振り返りを Teams 上の1枚ポートフォリオシートへ入力、または紙のポートフォリオシートの画像を投稿する。	主 	深 		
	5 個人で単元の学習を振り返る。 単元を貫く問い：「持続可能な社会づくりに向け、自分自身にできることは何だろうか」 ・持続可能な社会づくりについて関心をもち、自ら課題を見だし、その意義や課題解決に向けた自らの在り方について記述、入力する。 ・学んだ内容を実生活や今後の学習にどう生かすかを考える。	主  主 	深 		